

公開シンポジウム「もっと知りたい！食品添加物と残留農薬」の開催

1. 主催： 日本学術会議
基礎医学委員会・生産農学委員会・薬学委員会合同トキシコロジー分科会
農学基礎委員会・生産農学委員会合同食の安全分科会
2. 共催： 日本トキシコロジー学会、日本薬学会、共立薬科大学
後援： 日本医歯薬アカデミー

3. 日時： 2007年12月7日（金）午後1時30分～午後4時50分

4. 会場： 共立薬科大学 メディア講堂 東京都港区芝公園1-5-30
（最寄駅：都営地下鉄三田線御成門駅） ※参加費：無料

5. 開催の趣旨：

市民の「食の安全」への関心は非常に高いものの、病原性微生物、化学物質などの食品中のハザードに由来するリスクについて、市民の間に科学的な認識が浸透するにはまだ道のりがある。とりわけ、市民の関心の高い食品添加物や残留農薬については、知識の不足やそれに伴う誤解が大きく、絶対的な忌避感が強い。そこで本シンポジウムにおいては、市民を対象に開催し、食品に使われている化学物質のリスクもベネフィットも、量と作用との関係に依存するものであることについて、食品添加物と残留農薬を例にあげつつ、分かりやすく解説し、食品に使用される化学物質へのバランスのとれた態度を醸成することを目的とする。あわせて現在のこれらに関する規制の考え方にも触れる。

6. プログラム

開会挨拶：赤堀文昭（麻布大学獣医学部教授・日本学術会議トキシコロジー分科会委員長）

座長 豊島 聡（医薬品医療機器総合機構審査センター長）
春日 文子（国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長）

- ①「食品の安全と消費者の安心」
唐木 英明（東京大学名誉教授・日本学術会議第二部部長）
- ②「食品添加物の安全性と有用性」
高野 靖（日本食品添加物協会専務理事）
- ③「残留農薬と基準値」
朝倉 健司（農林水産省農産安全管理課長）
- <休憩>
- ④「消費者からみた食品の安全性」
宗林 さおり（国民生活センター商品テスト部調査役）
- ⑤パネルディスカッション

閉会挨拶：新山陽子
（京都大学大学院農学研究科教授・日本学術会議食の安全分科会委員長）

公開シンポジウム

もっと知りたい！ 食品添加物と残留農薬

日時：2007年12月7日（金）午後1時30分～午後4時50分

会場：共立薬科大学 メディア講堂 東京都港区芝公園1-5-30

地下鉄：都営三田線 御成門駅 A2出口徒歩2分
都営浅草線・大江戸線 大門駅 徒歩6分
JR 山手線・京浜東北線 浜松町駅 徒歩10分

参加費：無料



プログラム

開会挨拶：赤堀文昭（麻布大学獣医学部教授・日本学術会議トキシコロジー分科会委員長）

座長 豊島 聡（医薬品医療機器総合機構審査センター長）
春日 文子（国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長）

1. 「食品の安全と消費者の安心」
唐木 英明（東京大学名誉教授・日本学術会議第二部部長）
2. 「食品添加物の安全性と有用性」
高野 靖（日本食品添加物協会専務理事）
3. 「残留農薬と基準値」
朝倉 健司（農林水産省農産安全管理課長）
- <休憩>
4. 「消費者からみた食品の安全性」
宗林 さおり（国民生活センター商品テスト部調査役）
5. パネルディスカッション

閉会挨拶：新山陽子（京都大学大学院農学研究科教授・日本学術会議食の安全分科会委員長）

主催：日本学術会議トキシコロジー分科会・食の安全分科会
共催：日本トキシコロジー学会、日本薬学会、共立薬科大学
後援：日本医歯薬アカデミー

問い合わせ先：日本学術会議事務局
電話：03-3403-1091